

D-Link DGS-1016L・24L
Gigabit Unmanaged Ethernet Switch

..... ユーザマニュアル






安全にお使いいただくために



ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

安全上のご注意


必ずお守りください


本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。


 危険	この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
 警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
 注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。


記号の意味  してはいけない「**禁止**」内容です。  必ず実行していただく「**指示**」の内容です。


危険


 **禁止** 分解・改造をしない
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


 **禁止** ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。


 **禁止** 水をかけたり、ぬらしたりしない
内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。


 **禁止** 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）
でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、
ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、
直ちに電源プラグをコンセントから抜く
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。


 **禁止** 油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や
熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、
こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、
風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。


 **禁止** 内部に金属物や燃えやすいものを入れない
火災、感電、故障の原因となります。


 **禁止** 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。
また、砂などが付着した手で触れない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。


 **禁止** 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、
圧力釜など高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。


警告


 **禁止** 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを
与えたり、圧力をかけたりしない
故障の原因となります。


 **禁止** 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま
使用しない
感電、火災の原因となります。
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなって
から販売店に修理をご依頼ください。

 **禁止** 表示以外の電圧で使用しない
火災、感電、または故障の原因となります。


 **禁止** たこ足配線禁止
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の
原因となります。


 **指示** 設置、移動のときは電源プラグを抜く
火災、感電、または故障の原因となります。


 **禁止** 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない
感電の原因となります。


 **禁止** ケーブル/コード類や端子を破損させない
無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、
ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、
または故障の原因となります。


 **指示** 本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを
指定のコンセントに正しく接続して使用する
火災、感電、または故障の原因となります。


 **禁止** 各光源をのぞかない
光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや
LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。


 **禁止** 各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を
接触させたり、ほごりが内部に入ったりしないようにする
火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。


 **禁止** 使用中に布団で覆ったり、包んだりしない
火災、やけどまたは故障の原因となります。


 **指示** ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や
粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。


 **禁止** カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない
素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、
火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。


 **指示** 無線製品は病院内で使用する場合は、
各医療機関の指示に従って使用する
電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。


 **禁止** 本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの
（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない
火災、または故障の原因となります。


 **指示** 耳を本体から離してご使用ください
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。


 **指示** 無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを
装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、
販売業者に、電波による影響について確認の上使用する
医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

 **指示** 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う
電子機器の近くでは使用しない
電子機器が誤作動するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。










 **指示** ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、
割れたガラスや露出した端末内部に注意する
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。

 **指示** ペットなどが本機に噛みつかないように注意する
火災、やけど、けがなどの原因となります。













 **禁止** コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを
抜き差しするときは、金属類を接触させない
火災、やけど、感電または故障の原因となります。

 **禁止** AC アダプタや電源ケーブルに
海外旅行用の変圧器等を使用しない
発火、発熱、感電または故障の原因となります。

警告

-  ACアダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取るほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  ACアダプタや電源ケーブルをコンセントにさしこむときは、確実に差し込む。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電もしくは故障の原因となります。
-  接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。また、変形をもとに戻しての使用も行わない。端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。
-  各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしない。火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  使用しない場合は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  お手入れの際は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。抜かずに行くと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
-  SD や MicroSD カード、USB メモリの使用中は、カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない。データの消失、機器本体の故障の原因となります。
-  磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない。磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは機器本体の誤作動の原因となります。
-  ディーリンクジャパンが販売している無線機器は国内専用のため、海外で使用しない。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。海外から持ち込んだディーリンク製品や並行輸入品を日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

注意

-  乳幼児の手の届く場所では使わない。やけど、ケガまたは感電の原因となります。
-  **静電気注意**
コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけると故障の原因となります。
-  コードを持って抜かない。コードを無理に曲げたり、引っ張ると、コードや機器本体の破損の原因となります。
-  振動が発生する場所では使用しない。故障の原因となります。
-  付属品の使用は取扱説明書に従う。本製品の付属品は、取扱説明書に従い、他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
-  破損したまま使用しない。火災、やけどまたはけがの原因となります。
-  ぐらついた台の上や傾いた場所などの不安定な場所や高所には置かない。落下して、けがなどの原因となります。
-  子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない。けがや故障などの原因となります。
-  本製品を長時間連続使用する場合は、温度が高くなることがあるため、注意する。また、使用中に眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにする。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
-  コンセントにつないだ状態で、ACアダプタや電源コンセントに長時間触れない。やけど、感電の原因となります。
-  一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用しない。近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、なるべく離れた場所で使用してください。
-  D-Link が指定したオプション品がある場合は、指定オプションを使用する。不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- マニュアルなどに記載されている以外の方法での使用はやめてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。
- 本製品の開口部に物をさしこまないでください。火事や感電を引き起こすことがあります。
- 付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本製品と周辺機器の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- やむなく延長コードや電源分岐回路を使用する場合においても、延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは、電源分岐回路の定格アンペア限界の 8 割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起こる電力の変動から本製品を保護するためには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置（UPS）を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたり躓いたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルや電源プラグを改造しないでください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いておいてください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取り扱い説明書に従ってください。
- 本製品は動作中に高温になる場合があります。本製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 本製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因になります。
- 市販のオプション品や他社製品を使用する場合、当社では動作保証は致しませんので、予めご了承ください。
- 製品に貼られている製品ラベルや認証ラベルをはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

静電気障害を防止するために

静電気は、本製品内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、本製品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。

さらに、静電気放出（ESD）による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 機器を箱から取り出すときは、機器をシステム等に取り付ける準備が完了するまで、本製品を静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に必ず静電気対策を行ってください。
3. 静電気に敏感な機器の取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。また、計画停電などが予定されている場合には、事前に本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

ラック搭載型製品に関する一般的な注意事項

ラックの安定性および安全性に関する以下の注意事項を遵守してください。また、システムおよびラックに付随する、ラック設置マニュアル中の注意事項や手順についてもよくお読みください。

警告 前面および側面のスタビライザを装着せずに、システムをラックに搭載すると、ラックが倒れ、人身事故を引き起こす場合があります。ラックにシステムを搭載する前には、必ずスタビライザを装着してください。

警告 接地用伝導体を壊したり、接地用伝導体を適切に取り付けずに装置を操作しないでください。適切な接地ができるかわからない場合、電気保安協会または電気工事士にお問い合わせください。

警告 システムのシャーシは、ラックキャビネットのフレームにしっかり接地される必要があります。接地ケーブルを接続してから、システムに電源を接続してください。電源および安全用接地配線が完了したら、資格を持つ電気検査技師が検査する必要があります。安全用接地ケーブルを配線しなかったり、接続されていない場合、エネルギーハザードが起こります。

- システムとは、ラックに搭載されるコンポーネントを指しています。コンポーネントはシステムや各種周辺デバイスや付属するハードウェアも含まれます。
- ラックにシステム/コンポーネントを搭載した後は、一度にスライド・アセンブリに乗せて引き出すコンポーネントは1つのみとしてください。2つ以上のコンポーネントが引き出されると、ラックがバランスを失い、倒れて重大な事故につながる恐れがあります。
- ラックに装置を搭載する前に、スタビライザがしっかりとラックに固定されているか、床面まで到達しているか、ラック全体の重量がすべて床にかかるようになっているかをよく確認してください。ラックに搭載する前に、シングルラックには前面および側面のスタビライザを、複数結合型のラックには前面用スタビライザを装着してください。
- ラックへの装置の搭載は、常に下から上へ、また最も重いものから行ってください。
- ラックからコンポーネントを引き出す際には、ラックが水平で、安定しているかどうか確認してから行ってください。
- コンポーネントレール解除ラッチを押して、ラックから、またはラックへコンポーネントをスライドさせる際は、指をスライドレールに挟まないよう、気をつけて行ってください。
- ラックに電源を供給する AC 電源分岐回路に過剰な負荷をかけないでください。ラックの合計負荷が、分岐回路の定格の 80 パーセントを超えないようにしてください。
- ラック内部のコンポーネントに適切な空気流があることを確認してください。
- ラック内の他のシステムを保守する際には、システムやコンポーネントを踏みつけたり、その上に立ったりしないでください。

注意 資格を持つ電気工事士が、DC 電源への接続と接地を行う必要があります。すべての電気配線が、お住まいの地域、および国の電気基準と規制に準拠していることを確認してください。

バッテリーの取り扱いについて

注意 不適切なバッテリーの使用により、爆発などの危険性が生じることがあります。バッテリーの交換は、必ず同じものか、製造者が推奨する同等の仕様のものでご使用ください。バッテリーの廃棄については、製造者の指示に従って行ってください。

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。

<https://www.dlink-jp.com/support/product-assurance-provision>

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/support>

目次

安全にお使いいただくために.....	2
ご使用上の注意.....	4
静電気障害を防止するために.....	4
電源の異常.....	4
ラック搭載型製品に関する一般的な注意事項.....	5
バッテリーの取り扱いについて.....	5
はじめに	8
本マニュアルの対象者.....	9
表記規則について.....	9
製品名 / 品番について.....	9
第1章 本製品のご利用にあたって	10
対象となるハードウェアバージョン.....	10
サポートする機能.....	10
DGS-1016L・DGS-1024L について.....	10
搭載ポート.....	10
IEEE 802.1p/QoS.....	10
D-Link Green 省電力機能.....	11
DIP スイッチでの機能設定.....	11
外観について.....	12
LED 表示.....	13
ケーブル診断.....	13
第2章 機器の設置	14
パッケージの内容.....	14
ネットワーク接続前の準備.....	14
スイッチの接地.....	15
接地に必要なツールと機器.....	15
セキュリティスロットの使用.....	16
ゴム足の取り付け (19 インチラック / 壁面に設置しない場合).....	17
壁面への取り付け.....	17
19 インチラックへの取り付け.....	18
ブラケットの取り付け.....	18
19 インチラックにスイッチを取り付ける.....	18
電源抜け防止クリップの装着.....	19
電源の投入.....	20
第3章 機器の接続	21
接続について.....	21
一般的な接続.....	21
カスケード接続.....	22
第4章 保証とテクニカルサポート	23
製品に関するお問い合わせについて.....	23
お問い合わせに必要な情報.....	23
個人情報のお取り扱い.....	23
日本国外での使用について.....	24
廃棄方法について.....	24
商標について.....	24
ご注意.....	24

はじめに

DGS-1016L・24L ユーザマニュアルは、本製品のインストールおよび操作方法を記述しています。

第1章 本製品のご利用にあたって

- 製品の概要とその機能について説明します。また、前面および背面などの各パネルと LED 表示について説明します。

第2章 機器の設置

- DGS-1016L・24L の基本的な設置方法について説明します。

第3章 機器の接続

- DGS-1016L・24L の基本的な接続方法について説明します。

第4章 保証とテクニカルサポート

- DGS-1016L・24L の保証とテクニカルサポートについて説明します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

注意 注意では、使用にあたっての注意事項について説明します。

警告 警告では、ネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

補足 補足では、特長や技術についての詳細情報について説明します。

参照 参照では、別項目での説明へ誘導します。

表 1 に、本マニュアル中での字体・記号についての表記規則を表します。

表 1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」 ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" ご使用になる前に " (13 ページ) をご参照ください。

製品名 / 品番について

本製品の「製品名 / 品番」について一覧を記載します。

■製品名 / 品番一覧

製品名	品番
DGS-1016L	DGS-1016L/A1
DGS-1024L	DGS-1024L/A1

第 1 章 本製品のご利用にあたって

- 対象となるハードウェアバージョン
- サポートする機能
- DGS-1016L・DGS-1024L について
- 外観について
- LED 表示

対象となるハードウェアバージョン

本マニュアルの対象となるハードウェアバージョン（H/W）は下記の通りになります。

- ・ DGS-1016L : A1
- ・ DGS-1024L : A1

サポートする機能

- ・ 全ポート Gigabit Ethernet（10/100/1000Mbps）
- ・ ループ検知対応
- ・ Auto MDI/MDI-X 機能搭載
- ・ オートネゴシエーション（10/100/1000Mbps、全二重 / 半二重）
- ・ IEEE 802.1p ベース QoS
- ・ セキュリティスロット搭載
- ・ DIP スイッチによる機能切替
- ・ ファンレス
- ・ IEEE 802.3x フローコントロール制御（全二重時）
- ・ スイッチング方式：ストア&フォワード
- ・ ジャンボフレーム対応
- ・ 19 インチラック設置可
- ・ 電源内蔵
- ・ RoHS 指令対応
- ・ 省エネ機能

DGS-1016L・DGS-1024L について

搭載ポート

以下のポートを搭載しています。

DGS-1016L

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート x 16

DGS-1024L

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート x 24

IEEE 802.1p/QoS

DGS-1016L/24L には、重要なトラフィックが常に最初に送信されるように 4 レベルの送信キューがあります。1016L/24L はパケットのプライオリティタグをチェックし、関連したキューレベルにマップします。マッピングは以下のように関連付けされます。

802.1p タグ

- ・ 802.1p タグがない場合、スイッチの Q0 キュー（最低優先値）に割り当てられます。
- ・ プライオリティ値が 1 または 2 の場合、スイッチの Q1 キューに割り当てられます。
- ・ プライオリティ値が 3、4、5 の場合、スイッチの Q2 キューに割り当てられます。
- ・ プライオリティ値が 6 または 7 の場合、スイッチの Q3 キュー（最高優先値）に割り当てられます。

D-Link Green 省電力機能

リンクステータス時の省電力

- コンピュータがポートに接続されていない、または接続したコンピュータの電源がオフの時など、リンクダウン状態のポートが存在する場合、D-Link Green 省電力機能により省電力モードへ移行し、ポート毎に電力消費を細かく抑制します。

ケーブル長による省電力

- D-Link 省電力機能は接続しているイーサネットケーブルの長さを検出して、ネットワーク動作に影響を及ぼすことなく、ケーブル長に必要な分のみの電力消費に調整します。本機能は短いケーブル（20m 以下）を使用している時にのみ有効です。

DIP スイッチでの機能設定

フロントパネルの DIP スイッチを使用して、機能の設定を行うことが可能です。

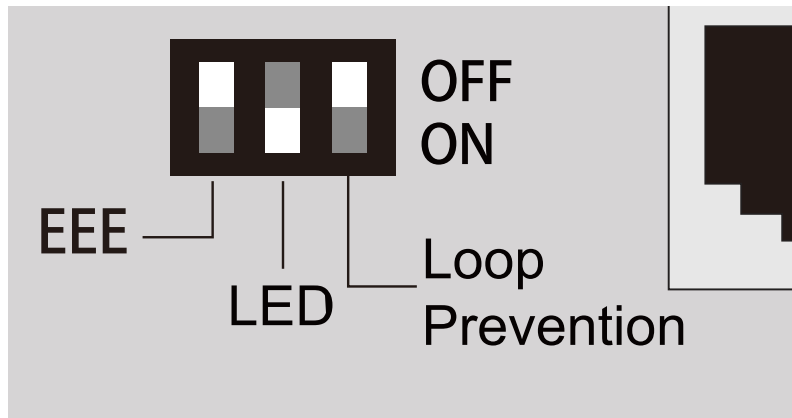


図 1-1 DIP スイッチ 図

以下の表にスイッチの DIP スイッチと機能設定について示します。

DIP スイッチ	機能	初期値
EEE	EEE 機能の有効 / 無効	OFF
LED	LED 表示の有効 / 無効 無効化した場合、Power LED 及びポート LED はオフの状態になります。この場合でも、スイッチは通常通り動作します。	ON
Loop Prevention	ループ検知機能の有効 / 無効	ON

注意 DIP スイッチを入れ替えた後、設定の変更を有効にするには、スイッチを再起動する必要があります。

EEE

IEEE 802.3az 省電力型イーサネット（EEE）は、ネットワーク機器のエネルギー消費量削減に対応したイーサネットの標準規格です。IEEE802.3az EEE 規格は、ネットワークを切断せずにインターフェースを省電力状態へ移行することにより、低稼働中のネットワークリンクのエネルギー消費量を削減することを目的とするメカニズムとプロトコルを定義しています。接続する端末側でも EEE に対応している必要があります。接続する全ての端末が EEE に対応している場合以外は、OFF にしてください。

LED

パネル上部の Power LED 及びポート LED では、電源やポートのステータスを確認することができます。本機能では、LED 表示を常に消灯状態とすることで、消費電力を抑制することが可能です。

Loop Prevention（ループ検知）

ループが発生すると、同じ経路を延々とイーサネット・フレームが流れ、帯域を圧迫して通信できない事態に陥ってしまいます。ループ検知機能は、特定のポートで生成されるループを検出し、一時的に遮断することで、ネットワーク障害を回避する為の技術です。

外観について

DGS-1016L

前面パネルには、Power、ポートのLink/Actの状態を表示するLED、およびDIPスイッチを搭載しています。「[LED表示](#)」の項で詳細の動作について説明します。

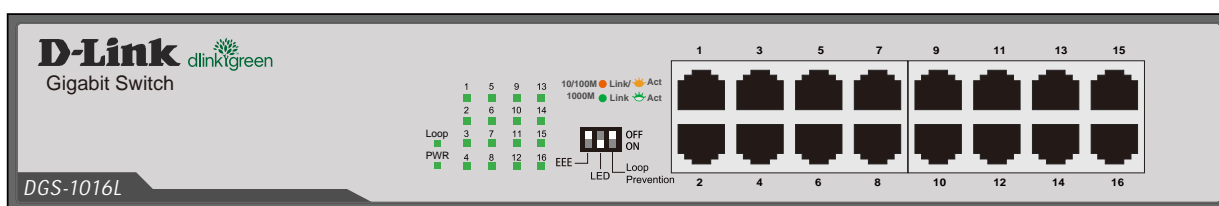


図 1-2 DGS-1016L の前面パネル図

背面パネルには電源コネクタ、接地コネクタ、セキュリティスロット、電源抜け防止クリップ挿入口があります。電源コネクタに付属の電源ケーブルを接続します。スイッチは自動的に 50/60Hz、100 ~ 240VAC 内の電圧に調整されます。

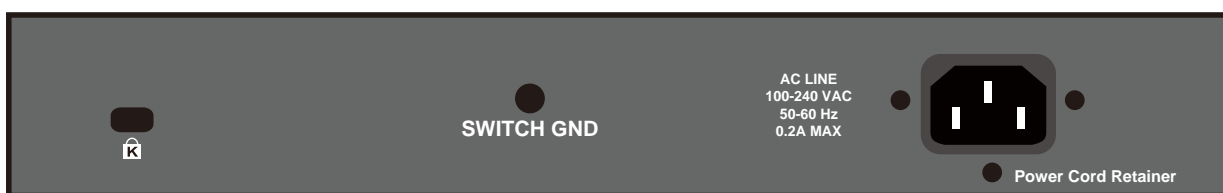


図 1-3 DGS-1016L の背面パネル図

DGS-1024L

前面パネルには、Power とポートの Link/Act の状態を表示する LED、および DIP スイッチを搭載しています。「[LED表示](#)」の項で詳細の動作について説明します。

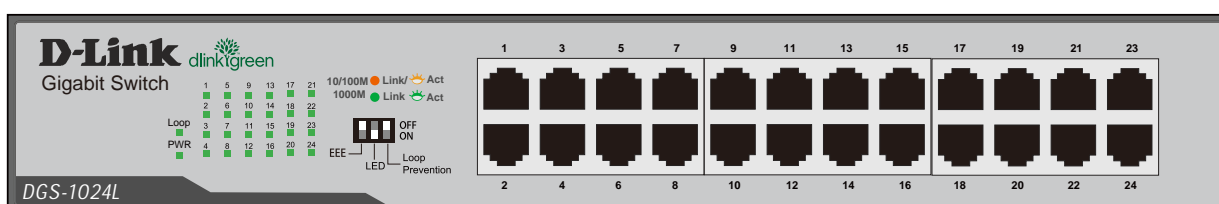


図 1-4 DGS-1024L の前面パネル図

背面パネルには電源コネクタ、接地コネクタ、セキュリティスロット、電源抜け防止クリップ挿入口があります。電源コネクタに付属の電源ケーブルを接続します。スイッチは自動的に 50/60Hz、100 ~ 240VAC 内の電圧に調整されます。

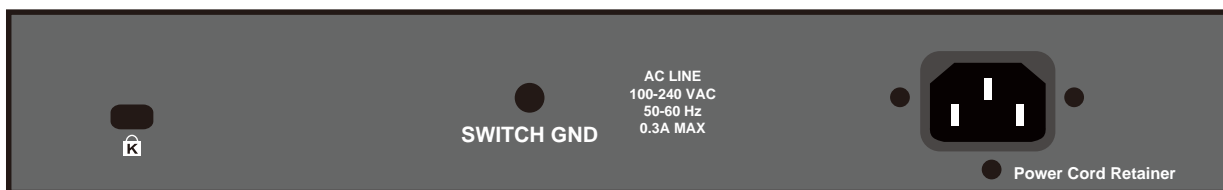


図 1-5 DGS-1024L の背面パネル図

LED 表示

Power と各ポートの Link/Act の状態を表示する LED を搭載しています。

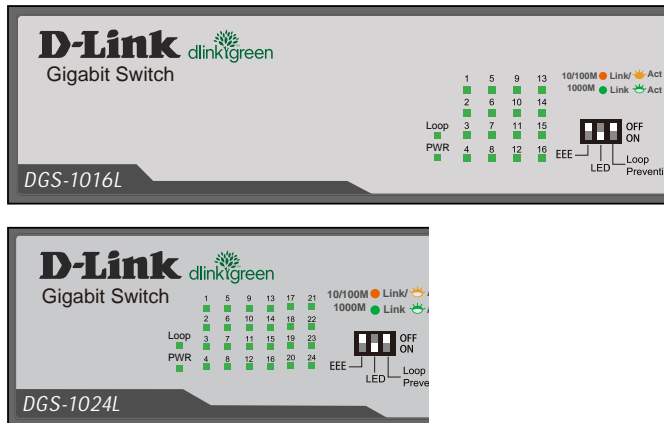


図 1-6 DGS-1016L、DGS-1024L の LED 配置図

以下の表にスイッチの LED の状態が意味するスイッチの状態を示します。

LED	状態	色	内容
Power	点灯	緑	電源が供給され正常に動作しています。
	消灯	—	電源コードが接続していない、あるいは接触不良であることを示します。
Loop	点滅	赤	ループが発生し、ループポートが停止しています。該当のポート LED はオフになります。
	消灯	—	<ul style="list-style-type: none"> ループが発生していない、あるいは解消されたことを示します。 Loop DIP スイッチがオフになっています。
ポート 1-8			
Link/Act/Speed	点灯	緑	1000Mbps でリンクが確立しています。
	点灯	橙	10/100Mbps でリンクが確立しています。
	点滅	緑	最大 1000Mbps でデータを送受信しています。
	点滅	橙	最大 10/100Mbps でデータを送受信しています。
	消灯	—	<ul style="list-style-type: none"> リンクが確立していません。 ループによりポートが遮断されています。

ケーブル診断

以下の表にスイッチ起動時のケーブル診断におけるスイッチの状態を示します。

LED	色	内容
Port Link/ActSpeed LED	緑	障害は検知されませんでした。ケーブル接続は正常です。
	橙	オープンもしくは短絡状態であることを示します。

第2章 機器の設置

- パッケージの内容
- ネットワーク接続前の準備
- スイッチの接地
- セキュリティスロットの使用
- ゴム足の取り付け（19 インチラック / 壁面に設置しない場合）
- 19 インチラックへの取り付け
- 電源抜け防止クリップの装着
- 電源の投入

パッケージの内容

ご購入いただいたスイッチの梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- ・ 本体
- ・ AC 電源ケーブル
- ・ ラックマウントキット
- ・ 壁掛けキット
- ・ ゴム足
- ・ マニュアル
- ・ シリアルラベル
- ・ 電源抜け防止クリップ
- ・ PL シート

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入頂いた販売代理店までご連絡ください。

ネットワーク接続前の準備

スイッチの設置場所が性能に大きな影響を与えます。以下のガイドラインに従って本製品を設置してください。

- ・ スイッチは、しっかりとした水平面で最低 3kg の耐荷重性のある場所に設置してください。
- ・ スイッチの上に重いものを置かないでください。
- ・ 本スイッチから 1.82m 以内の電源コンセントを使用してください。
- ・ 電源ケーブルが電源ポートにしっかり差し込まれているか確認してください。
- ・ 本スイッチの周辺で熱の放出と十分な換気ができることを確認してください。換気のためには少なくとも製品の前後 16cm 以上の空間を保つようにしてください。
- ・ スイッチは動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる、なるべく涼しくて乾燥した場所に設置してください。
- ・ スイッチは強い電磁場が発生するような場所（モータの周囲など）や、振動、ほこり、および直射日光を避けて設置してください。
- ・ スイッチを水平面に設置する際は、スイッチ底面に同梱のゴム足を取り付けてください。ゴム製の足はスイッチのクッションの役割を果たし、筐体自体や他の機器に傷がつくのを防止します。
- ・ 本スイッチ上に他の機器を積み重ねて設置、または筐体の側面、天面や底面の換気口からの通気を遮る物体 / 機器の上に本スイッチを置かないでください。
- ・ スイッチの上に手を置いたり、スイッチを手の上に置いたりしないでください。スイッチ内に熱がこもる原因になります。

スイッチの接地

スイッチを接地する方法について説明します。

注意 スwitchの電源をオンにする前に、本手順を完了する必要があります。

接地に必要なツールと機器

- ・ 接地ネジ（本体に付属）1個
- ・ 接地線（同梱されていません）
- ・ スクリュードライバ（アクセサリキットには含まれていません）

注意 接地線は国の設置必要条件に従ったサイズにする必要があります。商用に利用可能な 6 AWG 導線をお勧めします。また、ケーブル長は適切な接地設備にスイッチの距離に従います。

以下の手順でスイッチを保安用接地に接続します。

1. システムの電源がオフであることを確認します。
2. 接地ケーブルを使用して、以下の図のように、オープン状態の接地ネジ穴の上に #8 リング型ラグ端子を置きます。
3. 接地ネジ穴に接地端子を挿入します。
4. ドライバを使用して、接地ネジをしめて、スイッチに接地ケーブルを固定します。
5. スwitchが設置されるラック上の適切な設置スタッドまたはボルトに接地線の一端にあるリング型ラグ端子を取り付けます。
6. スwitchとラック上の設置コネクタの接続がしっかりと行われていることを確認します。

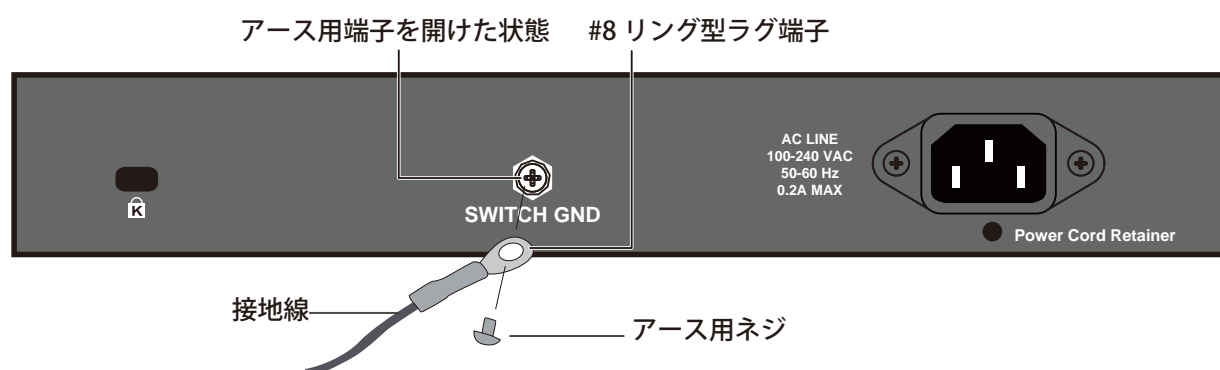


図 1-1 スwitchへのラグ端子の接地

注意 図は DGS-1016L の背面パネルです。他製品も背面に接地用コネクタがありますので、同様の手順で接地してください。

セキュリティスロットの使用

本スイッチは機器の右側面にセキュリティスロットがあります。市販のケーブルロックやセキュリティロックなどを使用して、製品を盗難から守ることができます。セキュリティスロットの使用には以下の手順を参照してください。

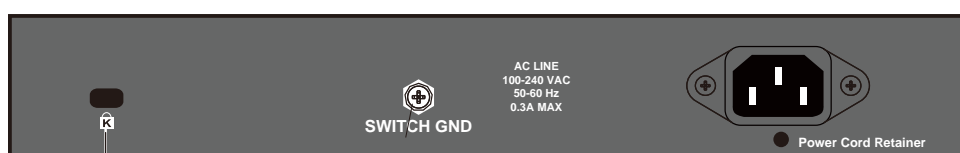
注意 ケーブルロックやセキュリティロックは同梱されておりません。

DGS-1016L



セキュリティスロット

DGS-1024L



セキュリティスロット

図 1-2 セキュリティスロット

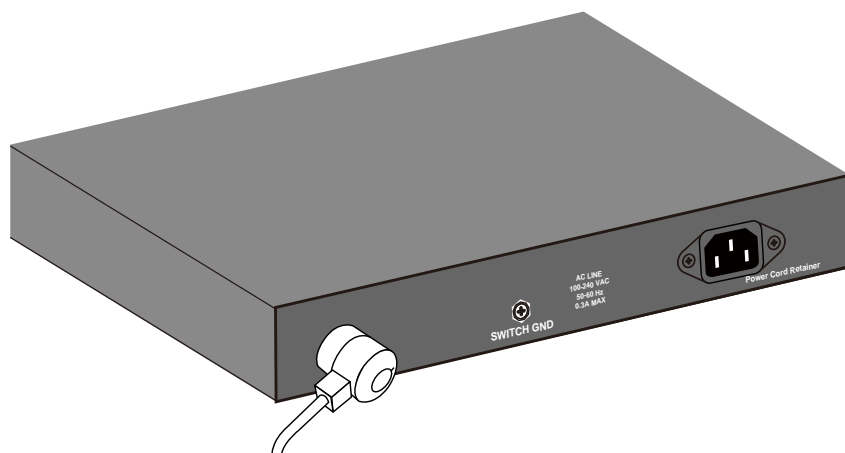


図 1-3 セキュリティロック設置

1. 製品のセキュリティスロットにロックを差し込みます。
2. セキュリティロックのケーブルを近接の固定物に括りつけます。
3. セキュリティロックに鍵を差し込みます。
4. セキュリティロックから鍵を抜きます。

注意 図は DGS-1024L の背面パネルです。他機種のセキュリティスロットにも、同様の手順で設置を完了してください。

注意 セキュリティロックの形状、設置方法はそれぞれの製品で異なる場合があります。図のセキュリティロックは一例です。

ゴム足の取り付け（19 インチラック / 壁面に設置しない場合）

机や棚の上に設置する場合は、まずスイッチに同梱されていたゴム製足をスイッチの裏面の四隅に取り付けます。スイッチの周囲に十分な通気確保するようにしてください。

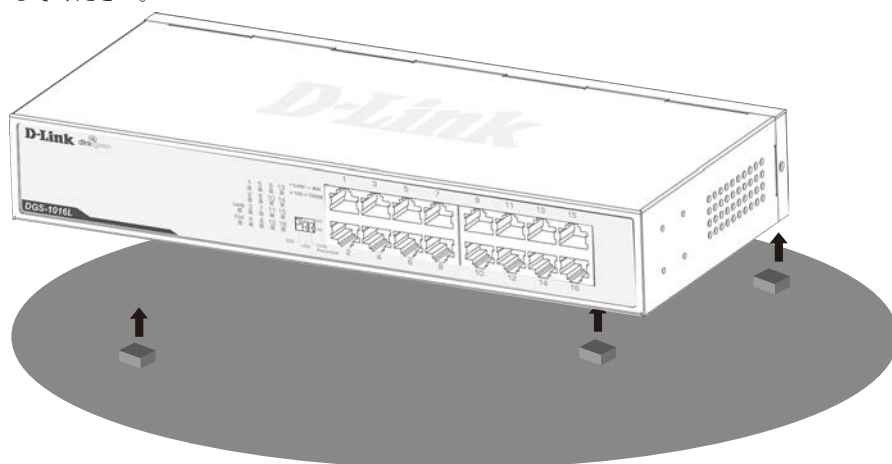


図 1-4 机や棚の上に設置する場合の準備

壁面への取り付け

本製品は壁掛けキットを利用して壁面に設置することも可能です。以下の手順で壁面に設置します。

警告 設置する壁面の強度につきましては十分確認した上で作業を行ってください。

注意 スイッチの電源を投入する前に、本手順を完了する必要があります。

1. マウントを打ち込む 2 箇所、あらかじめドリルなどで深さ 2 cm 程度の穴を開けます。
2. 拡張アンカを穴に挿入します。



図 1-1 壁面へのネジと本体の設置

3. アンカとネジを調整し、ネジを反時計周りに回して少し引き出します。

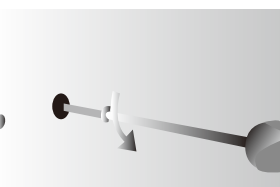


図 1-2 壁面へのネジと本体の設置

4. 取り付けられた壁面設置用ネジを、本製品背面の穴に引っ掛けてください。



図 1-3 壁面へのネジと本体の設置

19 インチラックへの取り付け

以下の手順に従って本スイッチを標準の 19 インチラックに設置します。

ブラケットの取り付け

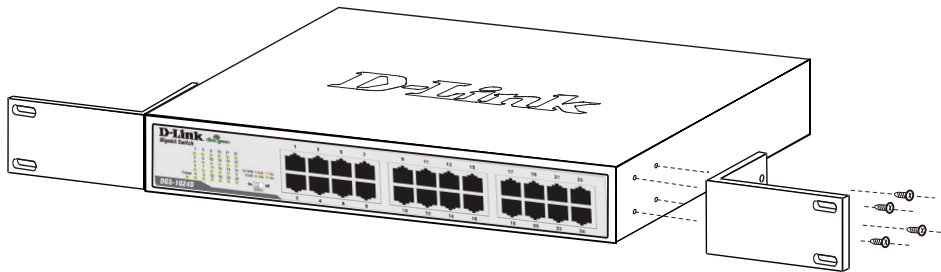


図 1-4 スイッチへのブラケットの取り付け

ラックマウントキットに付属のネジを使用して、本スイッチにブラケットを取り付けます。完全にブラケットが固定されていることを確認し、本スイッチを以下の通り標準の 19 インチラックに固定します。

19 インチラックにスイッチを取り付ける

警告 前面、側面にスタビライザを取り付けずに製品を設置すると、ラックが転倒し、場合によっては人身事故を引き起こすことがあります。そのため、ラック内に製品を取り付ける前に必ずスタビライザを取り付けてください。ラックにシステム/コンポーネントを取り付けた後は、一度にスライド・アセンブリに乗せて引き出すコンポーネントは 1 つだけとしてください。2 つ以上のコンポーネントが引き出されると、ラックがバランスを失い、倒れて重大な事故につながる恐れがあります。

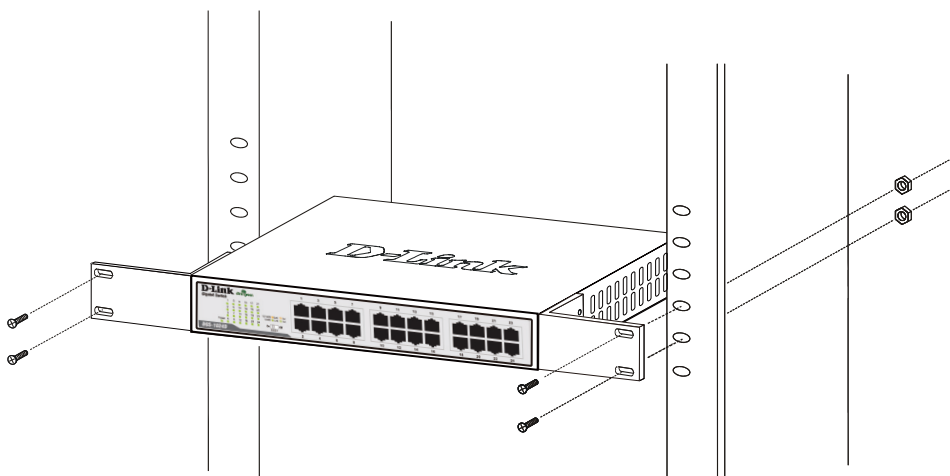


図 1-5 スイッチのラックへの設置

ラックに備えられたネジを使用して、スイッチをラックにマウントします。

電源抜け防止クリップの装着

DGS-1016L・24L は機器の背面に電源抜け防止クリップ挿入口があります。アクシデントにより AC 電源コードが抜けてしまうことを防止するために、スイッチに電源抜け防止クリップを装着します。以下の手順に従って電源抜け防止クリップを装着します。

1. スイッチの背面の電源プラグの下にある穴に、付属の電源抜け防止クリップのタイラップ（挿し込み先のあるバンド）を下記の図のように差し込みます。

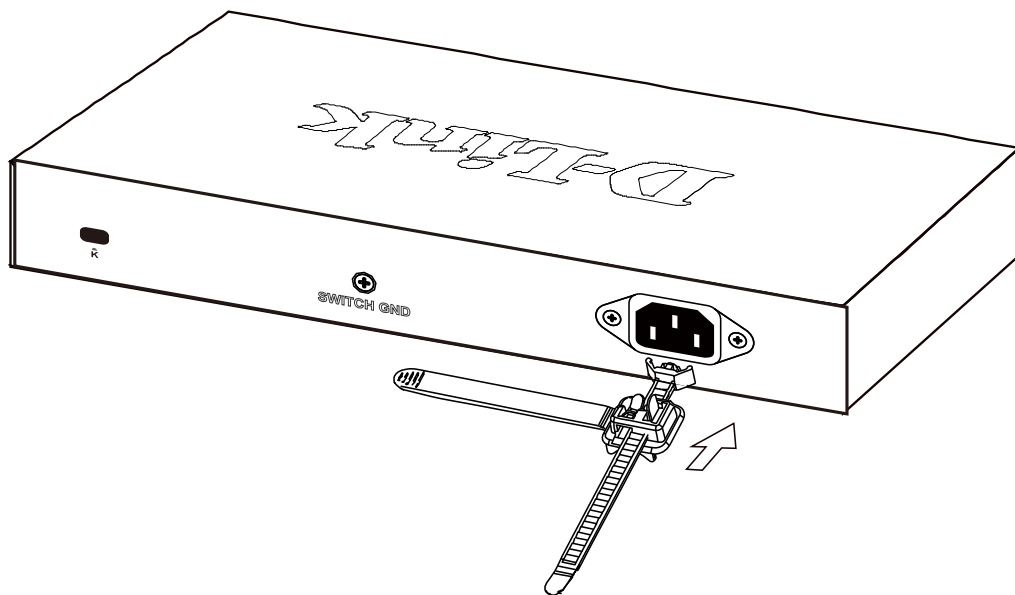


図 1-6 タイラップの挿し込み

2. AC 電源コードをスイッチの電源プラグに差し込みます。

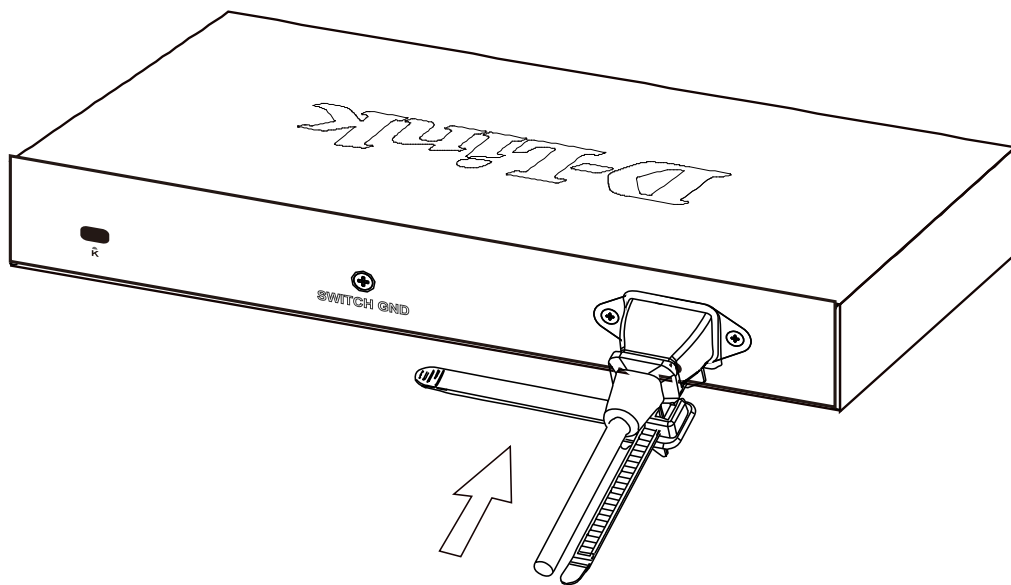


図 1-7 電源コード挿し込み

- 以下の図のようにリテイナーを電源コードに巻き付け、端をリテイナーのロック部分に挿し込みます。

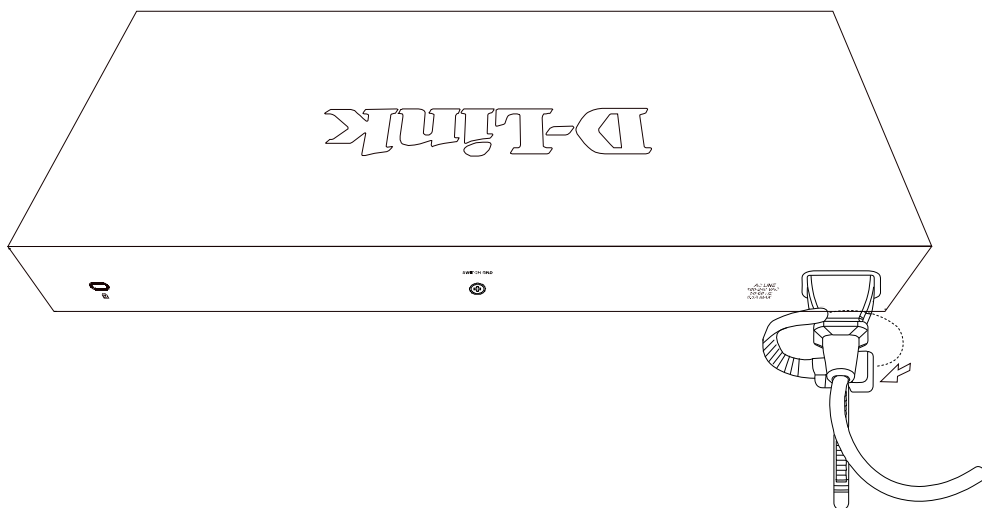


図 1-8 リテイナーの巻き付け、固定

- 固定されるまで引っ張り、電源抜け防止器具を締めます。

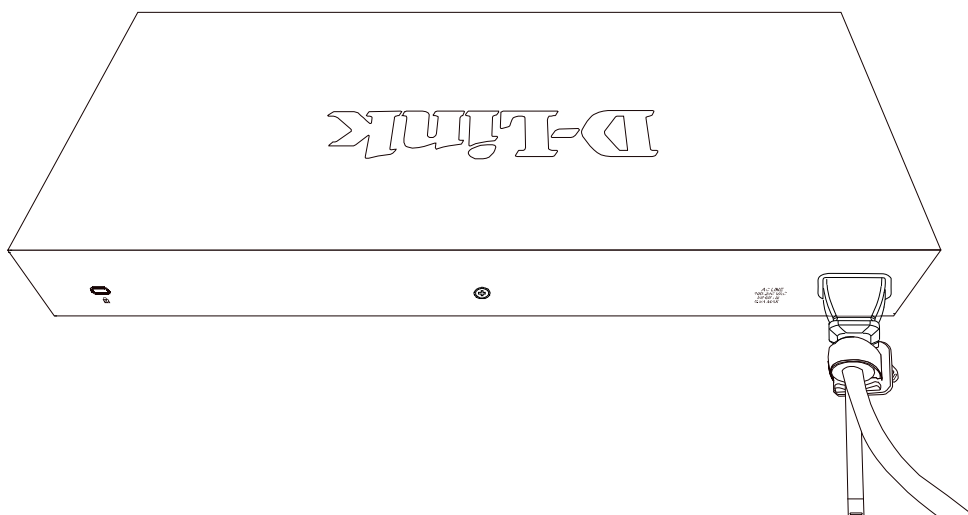


図 1-9 電源抜け防止クリップの固定確認

電源の投入

- 電源ケーブルを本スイッチの電源コネクタに接続します。電源ケーブルのプラグを電源コンセントに接続します。
- 本スイッチに電源が供給されると、Power LED が点灯します。

第3章 機器の接続

- 接続について
- 一般的な接続
- カスケード接続

接続について

1. 本製品のネットワークポートに、LAN ケーブルを接続します。

全ポートオートネゴシエーション機能搭載で 10/100/1000Mbps を自動的に判別して通信します。また、ケーブルの種類（ストレート/クロス）も自動的に判別します。

2. 接続先の機器に、LAN ケーブルのもう一方を接続します。
3. 付属の電源ケーブルを本製品に接続します。正しく接続されている場合は、接続しているポートのランプが点灯します。

以上で接続は完了です。

一般的な接続

PC やルータなどのイーサネットポートに接続してください。エンドノード（末端機器）への接続ポートはスイッチのどのポートでも構いません。

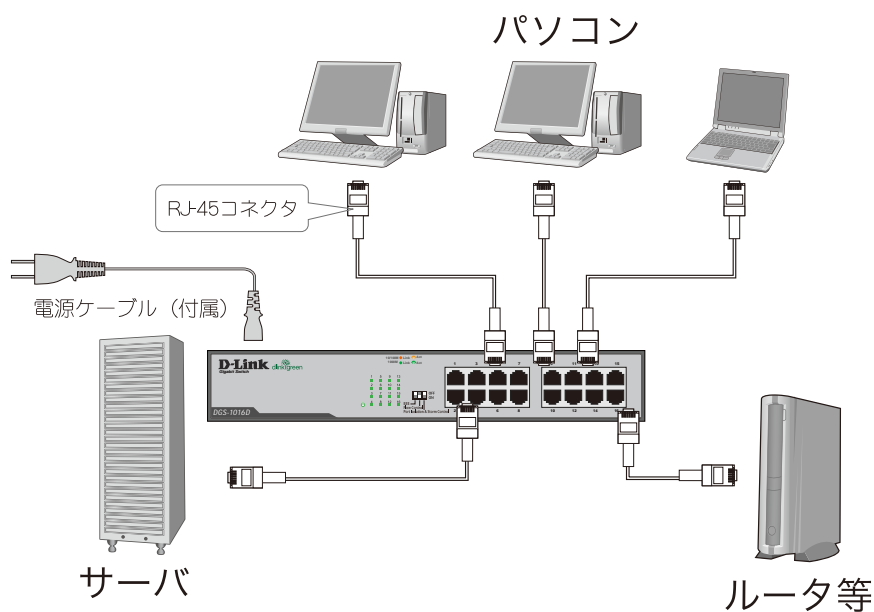


図 3-1 一般的な接続

正常に接続されるとポート LED が緑に点灯します。

カスケード接続

複数の製品のポートを互いにケーブルで接続し、階層状に接続することができます。どのポートを使用しても、簡単にカスケード接続することができます。

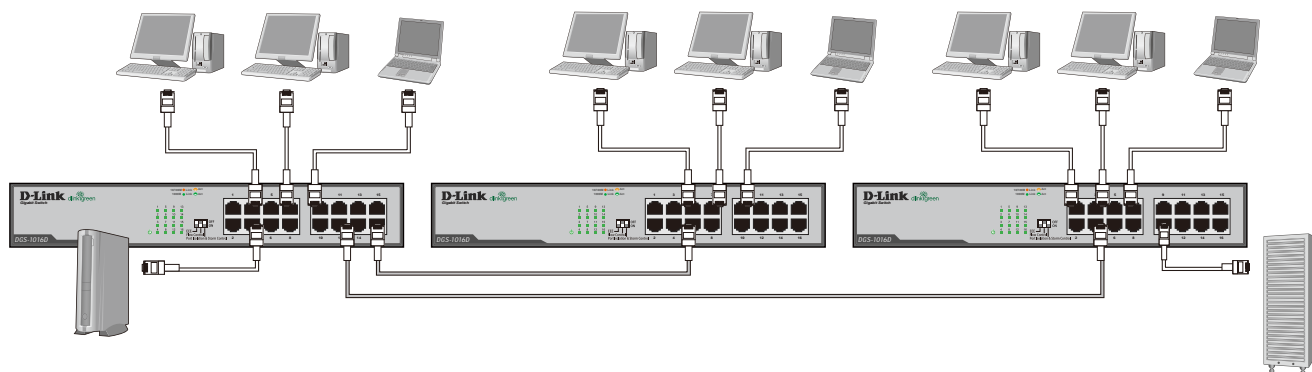


図 3-2 カスケード接続

第4章 保証とテクニカルサポート

- 製品に関するお問い合わせについて
- お問い合わせに必要な情報
- 個人情報のお取り扱い
- 日本国外での使用について
- 廃棄方法について
- 商標について
- ご注意

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、ご購入頂いた販売代理店へお問い合わせください。

- 1、ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
- 2、弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
- 3、ダウンロードサービスをご利用ください。
 - ・最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。<https://www.dlink-jp.com/>

注意 並行輸入品や海外で購入した製品はサポート対象外です。また、ディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）でも、日本国外で使用している場合は、サポート対象外となります。

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の情報をご用意の上、ご購入頂いた販売代理店へお問い合わせください。

- ・製品名
- ・お買い上げ年月日
- ・シリアル番号（本体または箱に貼付）
- ・ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン
（ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
- ・ご使用環境（OS、周辺機器など）
- ・エラーメッセージが表示されている場合は、その内容をお知らせください。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

なお、テクニカルサポートはディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）を、日本国内で使用している場合のみしか受けられません。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。

Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。

弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。

弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright 2010 - 2017 ディーリンクジャパン株式会社